

解決したい 課題

ロボットと人間の新たな関係構築

株式会社デンソー

2024年8月

R6実証内容

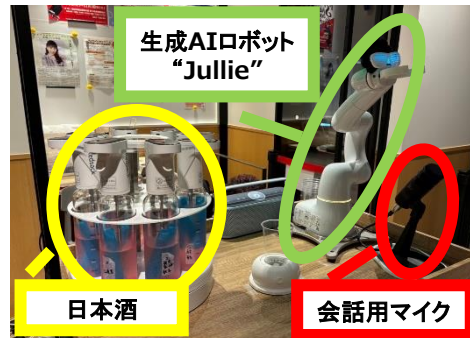
産業用人協働ロボットに生成AIを搭載した生成AIロボット“Jullie”が酒屋のマスターとなり、以下内容を検証した。

1. 会話を通じた好みの提案に対する社会的受容性の検証

- ロボットが体験者との会話を通じて嗜好を推定し、日本酒の銘柄を提案することで、体験者自身が選ぶ場合と比較し、感情的・心理的な反応を観察

2. ロボットにの自動供給による感情変化の検証

- 会話をもとに日本酒を提案・提供する際、体験者が持つ印象や感情（驚き・安心感・親近感等）を観察



結果考察

- 「話を聞いて選ぶこと」と「自動的な振る舞い」が、ロボットへの心理的距離を縮め、社会的受容性を高める要素だと確認できた
- 従来の「道具」としてのロボット観を超え、**新しい社会的存在としてのロボットの可能性**が浮き彫りになった

取組成果

1. 人間の社会的受容性

- 選ばれた日本酒に対し、**新しい発見への肯定的反応**を示した
- 選択行動に「意外性」と「発見」をもたらし、従来の**心理的バイアスを緩和する可能性**が見られた

2. 感情変化

- 日本酒提供の一連の行動に強い関心を示し、感情的なつながりが生まれていた
- ロボットの存在が、**新しい社会的接点として機能する可能性を示唆**した

実装に向けた課題

- 会話処理の遅延は、自然な対話体験の妨げとなる要素であったため、改善が必要である
- 応答性・感情表現の強化を通じて、**より深い人間らしい関係性の構築**を目指す必要である